3月の園だより

絵画展ご参加ありがとうございました。

今年の絵画展の時期もコロナ感染者が増えてきていて開催が心配されましたが、お家の方に来ていただき子どもの描いた絵を飾ってできたこと良かったです。各クラスごと1人ずつの面談では、一年を振り返り、成長してきたことを確かめ合ったり、1つ大きいクラスになるにあたっての心持であったり、日頃なかなか顔を見てのお話しができないお家の方ともお話しをすることができました。子どもたちの絵はどれも成長した変化があり、絵の中にその時々の子どもの気持ちが表れていたと思います。楽しいこともあったけど、子どもなりに葛藤があったり、悩みのある時期もあったり･･･たくさんの感情や経験が子どもの成長につながっていると思います。

また今年は、年齢ごとにどんな発達の姿が見られるか、日頃の子どもの姿を例に園でしていることや大人の思いを文章にまとめた冊子を作り皆さんにお配りしました。ざっとでもよいので目を通して下さると、お家と園とで共通認識もできるかなと思います。

冬野菜の収穫

園内にある小さな畑で乳児も幼児も水菜、はつか大根、小カブなどを植えています。はつか大根はすでに取り終えていますが、畑にはまだ水菜やサニーレタスがあり、緑の葉っぱがきれいでおいしそうです。保育の中で少しずつ収穫して、子どもと一緒に洗い、子どもの見ているところで包丁で切り、お塩でちょっと味付けをして食べます。

今年はきんかんの実がたくさんついて、お散歩のときの休憩やマラソンをした後などのご褒美などでも食べてきました。水菜とカブを刻んだところにきんかんの汁を絞り入れきんかんの皮も刻んで入れると、酸味がきいてとってもおいしくなりました。ボールにたくさんあった野菜サラダはあっという間にみんなで食べてしまい、幸せなひと時です。地面と太陽からの力が野菜と一緒に身体の中に入って、ほぼお休みする子がない元気な大中里の子どもたちです。

節分

ヒイラギを探しに園外散歩に出かけ、山の奥の方に行くと神様の大きな石のところがあって、鬼に勝てるようにお願いをしてきたようです。とってきたヒイラギを部屋の入り口にいくつもつけたり小さいクラスにもつけるように渡し、鬼の嫌いな焼いたメザシも入り口に飾り、鬼が部屋に入ってこないように準備をしていました。鬼が来たら新聞紙で作った豆を「オニハーソト！」と言ってぶつけられるようにとの練習は、数日前からしていました。

節分は2月3日ですが大中里こども園には２月2日に赤鬼と青鬼が来ました。小さいクラスはもちろんですが、幼児クラスでも恐いものは恐い。声を上げる子黙っての子泣きながらの子といましたが、鬼に捕まらないようにあっちにこっちに逃げて、少しでも鬼を見ないように友だちの陰に隠れ、それでも鬼が来るので逃げて･･･ようやく豆を投げつけて鬼が逃げていきました。鬼退治できたあとの子どもたちはどの子も高揚した表情をしていました。緊張がほぐれたようで、それまで我慢していたけれど泣き出す子もいました。

その後、福豆をいただきながら「恐くて泣いちゃったよねー」「うん、私も泣いた」「恐かった」と友だち同士で話している姿がありました。

鬼は、恐かったけれど皆でやっつけ逃げ帰った。それを成し遂げ安心した。子どもたちの気持ちが大きく動いた一日になりました。